



⑮補助事業の名称 (交付申請時に記述した名称)

# 「介護用移乗介助スーツ」の検証

仲介者 ⑯仲介者名  
NPO 法人 ○○○○○○

## 検証の目的 400字～600字

⑲講習内容 (講習の狙いを記述)

### 利用者の居室状況を変えずに検証

腰痛は、介護、物流、工場労働、農作業等の幅広い産業において多くの発症が認められており、世界的な健康問題の一つになっています。現在、腰痛防止のために、ロボットやクレーン、昇降作業台等の種々の機器が商品化されていますが、設置場所に制約を受ける・移動しにくい・作業前の段取りが面倒など、多くの課題を抱えているのが現状です。

そのような課題を解決するため、東京理科大学工学部機械工学科小林研究室と共に、腰に負担がかかる動作・作業時に筋力を補助する「必要な時に素早く手軽に装着できる着用型筋力補助装置：マッスルスーツ®」を共同開発・製造を行いました。

助装置：マッスルスーツ®」を共同開発・製造を行いました。

腰痛は、介護、物流、工場労働、農作業等の幅広い産業において多くの発症が認められており、世界的な健康問題の一つになっています。現在、腰痛防止のために、ロボットやクレーン、昇降作業台等の種々の機器が商品化されていますが、設置場所に制約を受ける・移動しにくい・作業前の段取りが面倒など、多くの課題を抱えているのが現状です。

そのような課題を解決するため、作業時に筋力を補助する「必要な時に素早く手軽に装着できる着用型筋力補助装置：マッスルスーツ®」を共同開発・製造を行いました。

## 検証の概要 1400字～1500字

⑲講習内容 (カリキュラム、参加人数等を記述)  
⑳効果測定の手法 (測定項目と方法の概要を記述)

### 利用者の居室状況を変えずに検証

腰痛は、介護、物流、工場労働、農作業等の幅広い産業において多くの発症が認められており、世界的な健康問題の一つになっています。

現在、腰痛防止のために、ロボットやクレーン、昇降作業台等の種々の機器が商品化されていますが、設置場所に制約を受ける・移動しにくい・作業前の段取りが面倒など、多くの課題を抱えているのが現状です。

そのような課題を解決するため、東京理科大学工学部機械工学科小林研究室と共に、腰に負担がかかる動作・作業時に筋力を補助する「必要な時に素早く手軽に装着できる着用型筋力補助装置：マッスルスーツ®」を共同開発・製造を行いました。

腰痛は、介護、物流、工場労働、農作業等の幅広い産業において多くの発症が認められており、世界的な健康問題の一つになっています。現在、腰痛防止のために、ロボットやクレーン、昇降作業台等の種々の機器が商品化されていますが、設置場所に制約を受ける・移動しにくい・作業前の段取りが面倒など、多くの課題を抱えているのが現状です。

効果測定の方法 (想定) 図、  
行程表、概要説明写真など

キャプション

作業前の段取りが面倒など、腰痛は、介護、物流、工場労働、農作業等の幅広い多くの課題を抱えているのが現状です。

そのような課題を解決するため、東京理科大学工学部機械工学科小林研究室と共に、腰に負担がかかる動作・作業時に筋力を補助する「必要な時に素早く手軽に装着できる着用型筋力補助装置：マッスルスーツ®」を共同開発・製造を行いました。腰痛は、介護、物流、工場労働、農作業等の幅広い産業において多くの発症が認められており、世界的な健康問題の一つになっています。現在、腰痛防止のために、ロボットやクレーン、昇降作業台等の種々の機器が商品化

### 操作手順の覚えやすさを数値化

腰痛は、介護、物流、工場労働、農作業等の幅広い産業において多くの発症が認められており、世界的な健康問題の一つになっています。現在、腰痛防止のために、ロボットやクレーン、昇降作業台等の種々の機器が商品化されていますが、設置場所に制約を受ける・移動しにくい・作業前の段取りが面倒など、腰痛は、介護、物流、工場労働、農作業等の幅広い多くの課題を抱えているのが現状です。

そのような課題を解決するため、東京理科大学工学部機械工学科小林研究室と共に、腰に負担がかかる動作・作業時に筋力を補助する「必要な時に素早く手軽に装着できる着用型筋力補助装置：マッスルスーツ®」を腰痛は、介護、物流、工場労働、農作業等の幅広い共同開発・製造を行いました。

腰痛は、介護、物流、工場労働、農作業等の幅広い産業において多くの発症が認められており、世界的な健康問題の一つになっています。現在、腰痛防止のために、ロボットやクレーン、昇降作業台等の種々の機器が商品化されていますが、設置場所に制約を受ける・移動しにくい・

効果測定の方法 (想定) 図、  
行程表、概要説明写真など

キャプション

### 検証チームの構成

⑭チーム番号  
チーム番号: T000

機器事業者・団体

株式会社 ○○○○

⑳製造事業者名  
(補助対象機器の申請者名)

⑯仲介者名

⑰住所及び問い合わせ先

●NPO法人 ○○○○○○

〒○○○-○○○

⑱仲介者と導入した介護施設の  
体制図 (個人名を除く)

●有限会社 ○○○○

〒○○○-○○○

○○県○○市○○町○-○○-○

Tel: ○○○-○○○-○○○

●○○○○株式会社

〒○○○-○○○

○○県○○市○○町○-○○-○

Tel: ○○○-○○○-○○○

機器の導入施設

- 特別養護老人ホーム (3施設)
- 有料老人ホーム (6施設)
- 介護老人保健施設 (2施設)
- 病院 (2施設)

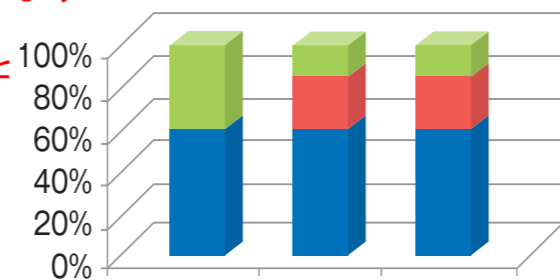
## 検証の結果 900字～1200字

①効果測定の結果  
(グラフ、写真、文書等により)

介護者・被介護者のどちらも  
端的明瞭に記述) ②③主なヒヤリハット情報と  
快適に使用できる 検討した対応

腰痛は、介護、物流、工場労働、農作業等の幅広い産業において多くの発症が認められており、世界的な健康問題の一つになっています。現在、腰痛防止のために、ロボットやクレーン、昇降作業台等の種々の機器が商品化されていますが、設置場所に制約を受ける・移動しにくい・作業前の段取りが面倒など、多くの課題を抱えているのが現状です。

そのような課題を解決するため、東京理科大学工学部機械工学科小林研究室と共に、腰に負担がかかる動作・作業時に筋力を補助する「必要な時に素早く手軽に装着できる着用型筋力補助装置：マッスルスーツ®」を共同開発・製造を行いました。農作業等の幅広い産業において多くの発症が認められており、世界的な健康問題



効果測定の結果一覧表・グラフなど

キャプション

の一つになっています。現在、腰痛防止のために、ロボットやクレーン、昇降作業台等の種々の機器が商品化されていますが、設置場所に制約を受ける・移動しにくい・作業前の段取りが面倒など、多くの課題を抱えているのが現状です。腰痛は、介護、物流、工場労働、農作業等の幅広い産業において多くの発症が認められており、多くの課題を抱えているのが現状です。

そのような課題を解決するため、東京理科大学工学部機械工学科小林研究室と共に、腰に負担がかかる動作・作業時に筋力を補助する「必要な時に素早く手軽に装着できる着用型筋力補助装置：マッスルスーツ®」を介護、物流、工場労働、農作業等の幅広い産業において多くの発症が認められており、世界的な健康問題の一つになっています。現在、腰痛防止のために、ロボットやクレーン、農作業等の幅広い産業において多くの課題を抱えているのが現状です。

そのような課題を解決するため、東京理科大学工学部機械工学科小林研究室と共に、腰に負担がかかる動作・作業時に筋力を補助する「必

効果測定の実施状況写真

キャプション

## 比較検証 導入後のシフトを見直す

200字～300字

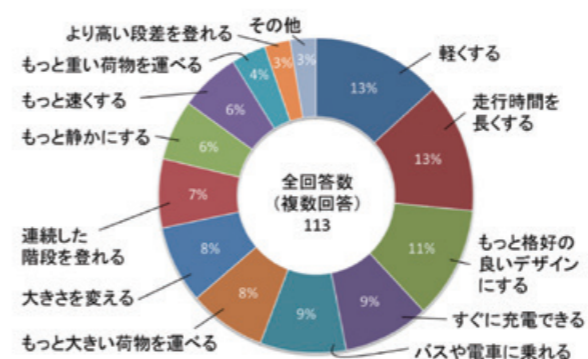
②導入前後の状況

腰痛は、介護、物流、工場労働、農作業等の幅広い産業において多くの発症が認められており、世界的な健康問題の一つになっています。現在、腰痛防止のために、ロボットやクレーン、昇降作業台等の種々の機器が商品化されていますが、設置場所に制約を受ける・移動しにくい・作業前の段取りが面倒など、多くの課題を抱えているのが現状です。

腰痛は、介護、物流、工場労働、農作業等の幅広い産業において多くの発症が認められており、世界的な健康問題の一つになっています。現在、腰痛防止のために、ロボットやクレーン、昇降作業台等の種々の機器が商品化されていますが、設置場所に制約を受ける・移動しにくい・作業前の段取りが面倒など、多くの課題を抱えているのが現状です。

効果測定の結果一覧表・グラフなど

Q1-4: さらに便利なロボットにするためには？



必要な時に素早く手軽に装着できる着用型筋力補助装置：マッスルスーツ®」を現在、腰痛防止のために、ロボットやクレーン、共同開発・製造を行いました。農作業等の幅広い産業において多くの発症が認められており、世界的な健康問題の一つになっています。現在、腰痛防止のために、ロボットやクレーン、昇降作業台等の種々の機器が商品化されていますが、東京理科大学工学部機械工学科小林研究室と共に設置場所に制約を受ける・移動しにくい・作業前の段取りが面倒など、多くの課題を抱えているのが現状です。

## 機器導入施設の声

300字～500字

特別養護老人ホームの生

介護士 協力のきっかけ、動機、率直な感想

・良かった点、悪かった点、

必要としている支援 施策 等

夜間の人員不足を補う

機器に期待

施設インタビュー時の写真

キャプション

腰痛は、介護、物流、工場労働、農作業等の幅広い産業において多くの発症が認められており、世界的な健康問題の一つになっています。現在、腰痛防止のために、ロボットやクレーン、昇降作業台等の種々の機器が商品化されていますが、設置場所に制約を受ける・移動しにくい・作業前の段取りが面倒など、多くの課題を抱えているのが現状です。

そのような課題を解決するため、東京理科大学工学部機械工学科小林研究室と共に、腰に負担がかかる動作・作業時に筋力を補助する「必要な時に素早く手軽に装着できる着用型筋力補助装置：マッスルスーツ®」を共同開発・製造を行いました。

腰痛は、介護、物流、工場労働、農作業等の幅広い産業において多くの発症が認められており、世界的な健康問題の一つになっています。現在、腰痛防止のために、ロボットやクレーン、昇降作業台等の種々の機器が商品化されていますが、設置場所に制約を受ける・移動しにくい・作業前の段取りが面倒など、多くの課題を抱えているのが現状です。

検証チーム総評

200字～300字

⑤総評（自由コメント）

・チームを代表して、  
製造事業者又は仲介者、  
介護施設等の担当者が記入

担当者・チーム  
メンバーの写真

仲介者  
NPO法人 代表

仲介 太郎

腰痛は、介護、物流、工場労働、農作業等の幅広い産業において多くの発症が認められており、世界的な健康問題の一つになっています。現在、腰痛防止のために、ロボットやクレーン、昇降作業台等の種々の機器が商品化されていますが、設置場所に制約を受ける・移動しにくい・作業前の段取りが面倒など、腰に負担がかかる動作・作業時に筋力を補助する東京理科大学工学部機械工学科小林研究室と共に多くの課題を抱えているのが現状です。

そのような課題を解決するため、東京理科大学工学部機械工学科小林研究室と共に、腰に負担がかかる動作・作業時に筋力を補助する「必要な時に素早く手軽に装着できる着用型筋力補助装置：マッスルスーツ®」を共同開発・製造を行いました。